

## 厚生文教委員会

### 熱中症対策に関する申入れを行いました

6月24日、正副委員長において、町に対し熱中症対策に関する申入れを行いました。

6月8日の委員会で、今夏の熱中症対策について、町より例年の取り組みに加え、保育園児の保護者や町の事業者を通じて周知を図るなど新たな取り組みを実施するとの報告がありました。協議した結果、以下の点について申し入れを行う事になりました。

1. 新規の取り組み等を含めて、できる限り早期に対策の実施を図られたい。
2. 熱中症予防シェルターについては、様々な施設が利用可能となるように検討願いたい。
3. 見守りなど高齢者等に対する熱中症対策の拡充を検討されたい。



申し入れをしている様子（副町長室）

### 町の障がい者施設4か所を視察

6月8日、全委員8名で町内の委員会の所管にかかわる施設のうち、精神障害者地域支援センター「ひまわり」、福祉作業所「さくら」、精神障害者共同作業所「ころぼっくる」、心身障害者（児）福祉センター「あゆみ」の4か所を視察しました。

それぞれの施設の状況など、意見交換を行いました。



「ころぼっくる」の作業の様子

## 議会トピックス

### ふれあい運動会に参加

6月21日、中央体育館で第35回瑞穂町ふれあい運動会が開催されました。障がいをお持ちの方、ボランティアの方、一般の方などが集って、借り物レース、車椅子パンくい競争、玉入れなどが行われました。議員の多くも一緒に各種競技に参加して、共にいい汗をかきました。また、「手のひらに太陽を」の手話体操では、参加者全員の気持ちがひとつに繋がりに盛上がりしました。

開会式で聖火に点火する様子



森 巨 議員（自民新国会）

### 町内事業者の育成と契約方法の公平性を

町長 町内事業者の受注状況は25件で49%

町長 指名競争入札においては、地元貢献性を視野に入れた基準に従い優先指名している。



地元業者が参加した商工会通常総代会

町長 町では、協働によるまちづくり推進のために協働を考える会議を設置し、26年10月に協働宣言を策定した。同会議では宣言の実現のために①地域への周知啓発。②地域団体の

また、今年3月に報告があった「町民意識調査」はどう活かされるのか、町長の所見を伺う。

質問 これからのまちづくりには、町民が主体的に地域活動などに参加し、真の「住民自治」を実現することが求められている。26年10月には「協働宣言」も策定された。いくつかの施策もあるが、真に町民ニーズに沿ったまちづくりのため、地域協働をどう進めていくのか。



町民会館に設置されている「協働宣言」のプレート

町長 協働推進への具体的、実践的に検討

こんな質問もありました  
子育て支援策のさらなる展開は  
町長 限られた財源で、効率的に成果を出すことが、行政としての責務。

質問 少子高齢化社会に適応する行財政運営を可能としていくためには、これまで以上に町の民間事業者の育成と協力が必須である。そこで、ソフト・ハード両面における事業者選定の基本方針と選定方法、公平性・透明性

の確保について、次の4点を町長に伺う。  
問① 現在の町内事業者への受注率は。  
町長 26年度の1千万円以下の工事案件における町内業者の受注状況は25件で49%。  
問② 各種事業の見積・積算方法は。  
町長 通常、職員が積算基準や設計単価などをを用いて行っている。案件によっては委託業者にお願する。

性・技術の特殊性などを審議し決定。指名業者選定では、入札後に入札経過調書を公表し、町の判断基準を示すなどして公平性・透明性を確保し、契約事務の適正化を図っている。



近藤 浩 議員（改革みずほの会）

### どう進める 地域協働のまちづくり

町長 協働推進への具体的、実践的に検討

こんな質問もありました  
子育て支援策のさらなる展開は

町長 限られた財源で、効率的に成果を出すことが、行政としての責務。